

小児・AYAがんトータルケアセンターの開設について

～医療ケア児からAYA世代のがん患者さんを包括的にサポート～

三重大大学医学部附属病院 小児科 科 長 平山 雅浩

小児・AYAがんトータルケアセンター センター長 岩本彰太郎

小児がん拠点病院として

小児がん拠点病院： 全国15ヶ所に設置

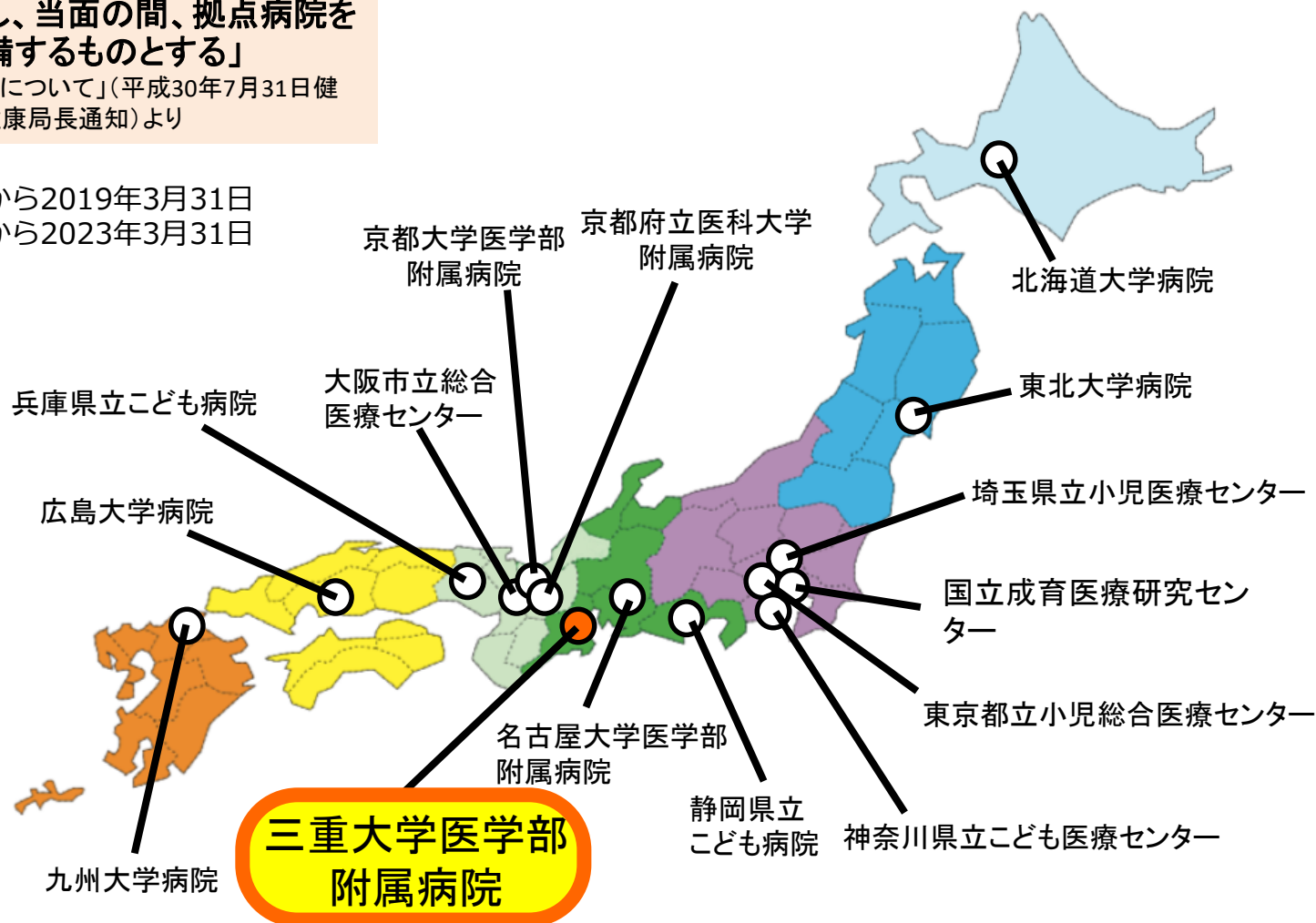
「地域バランスも考慮し、当面の間、拠点病院を
全国に10カ所程度整備するものとする」

「小児がん拠点病院等の整備について」(平成30年7月31日健
発0731号第2号構成等同省健康局長通知)より

【指定期間】

第1期：2013年2月8日から2019年3月31日

第2期：2019年4月1日から2023年3月31日



小児がん拠点病院の指定要件見直しのポイント (平成30年7月31日)

○ 平成29年12月に設置した「小児・AYA世代のがん医療・支援のあり方に関する検討会」の提言を踏まえ、「小児がん診療・支援のさらなるネットワーク化」、「AYA世代への対応の強化」、「医療安全の推進」の3つに重点を置き、指定要件の見直しを行った。

小児がん診療・支援の さらなるネットワーク化

- 小児がん拠点病院による小児がん連携病院の指定
地域ブロック協議会で協議の上、次に掲げる類型ごとに連携病院を指定。
 - ① 地域の小児がん診療を行う連携病院
 - ② 特定のがん種等についての診療を行う連携病院
 - ③ 小児がん患者等の長期の診療体制の強化のための連携病院
- 連携病院も含め、情報の集約化と適切な提供を促進。

AYA世代への対応の強化

- 小児がんからの移行期医療の提供・連携体制の整備
- AYA世代発症のがん患者への医療の提供・連携体制の整備
- AYA世代のがん患者への相談支援体制の整備 等

医療安全の推進

- 医療安全管理部門の設置
- 医療安全管理者の配置 等

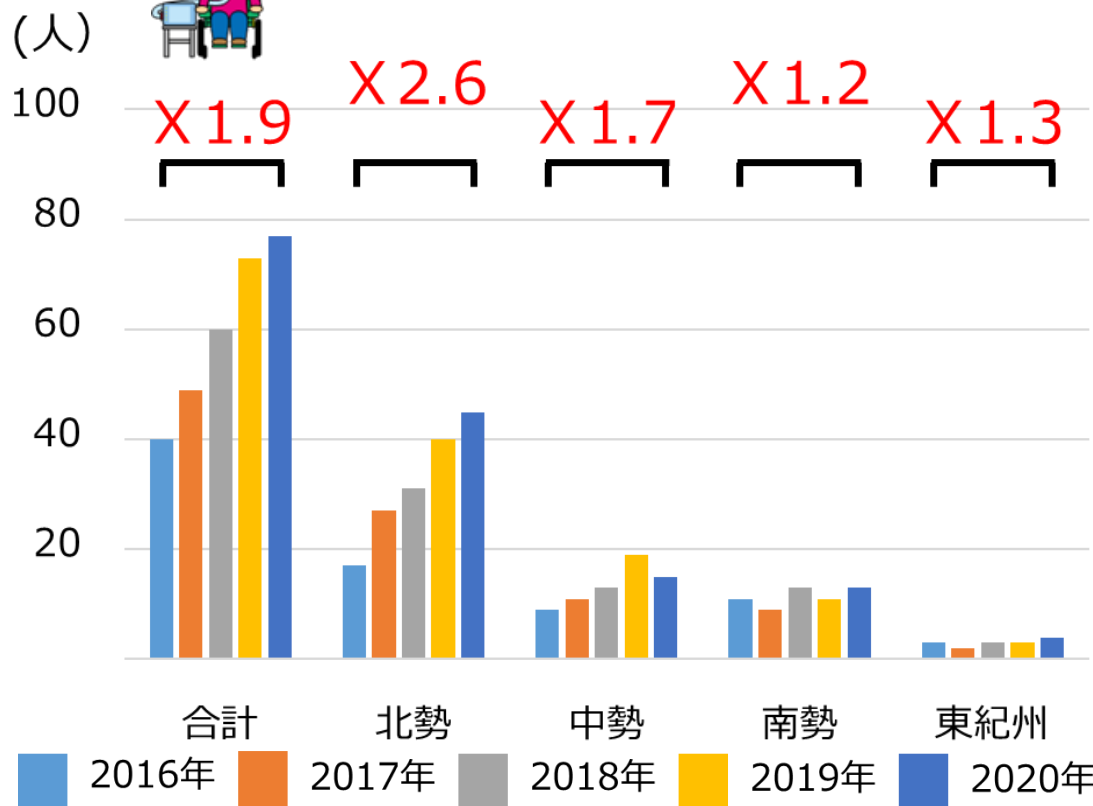
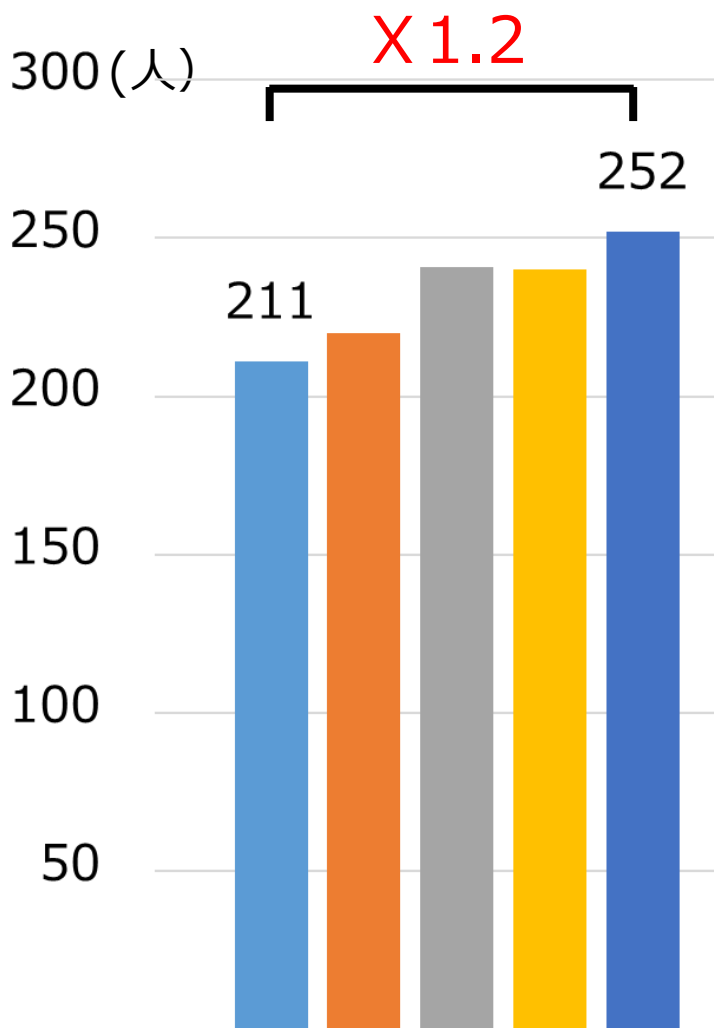
※AYA (Adolescent and Young Adult) 世代：思春期・若年成人＝15～39歳

県内 在宅医療的ケア児数の推移（20歳未満）

医療的ケア児 全体



人工呼吸器管理児



医療的ケア児の在宅医療連携支援体制は全国的に不十分。
県と協力し地域支援体制整備に着手

小児・AYAがんトータルケアセンター

小児・AYAがんトータルケアセンターの役割

がんなどの治療を受ける子どもさん
医療的ケアを必要とする子どもさん

思春期～若年成人(AYA世代)の
がん患者さん



医療、心理、社会・学校・家庭生活、社会システムなどの面から患者さんやご家族を長期的にサポート

- 訪問診療や訪問看護
- 入園・入学のための医療的支援
- 園・学校の関係者への助言
- 小児在宅医療支援システムの構築
- 小児医療を支える診療所、訪問看護ステーションの拡大
- AYA世代への移行と意思決定の支援
- 治療後の継続的な身体・心理的・社会的支援教育
- 就学・就労、将来的な結婚・出産などに関する相談、など

【スタッフ】

医師（小児科医2名） 看護師（小児看護専門看護師1名 他 3名）
チャイルド・ライフ・スペシャリスト（2名）
医療ソーシャルワーカー（1名） 事務員（3名）

医療的ケア児の生活を支えるために

医療的ケア児



在宅呼吸器



気管カニューレ 導尿カテーテル

酸素モニター



在宅酸素



経鼻胃管チューブ 胃瘻チューブ

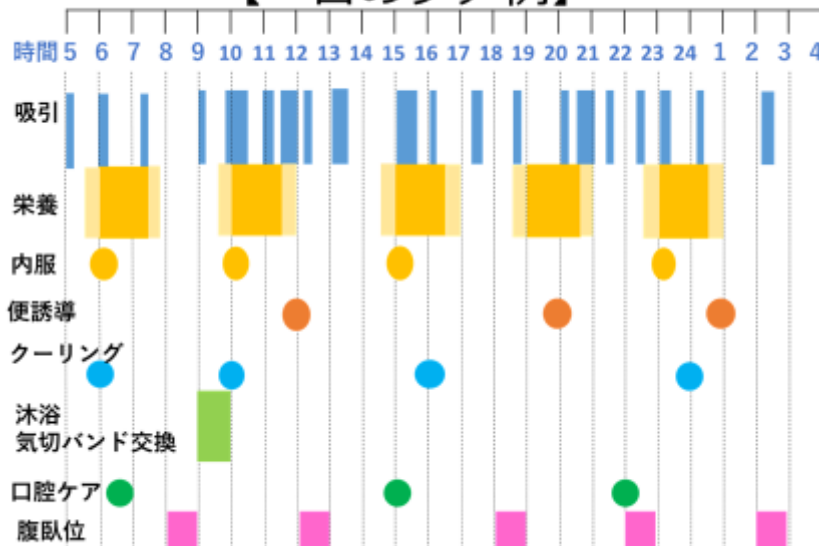


吸引器

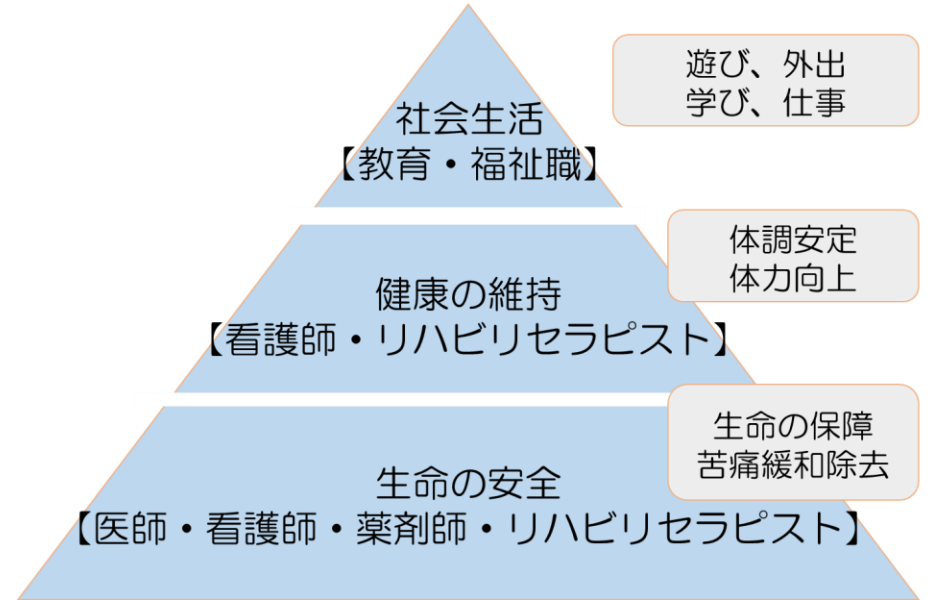


ネブライザー

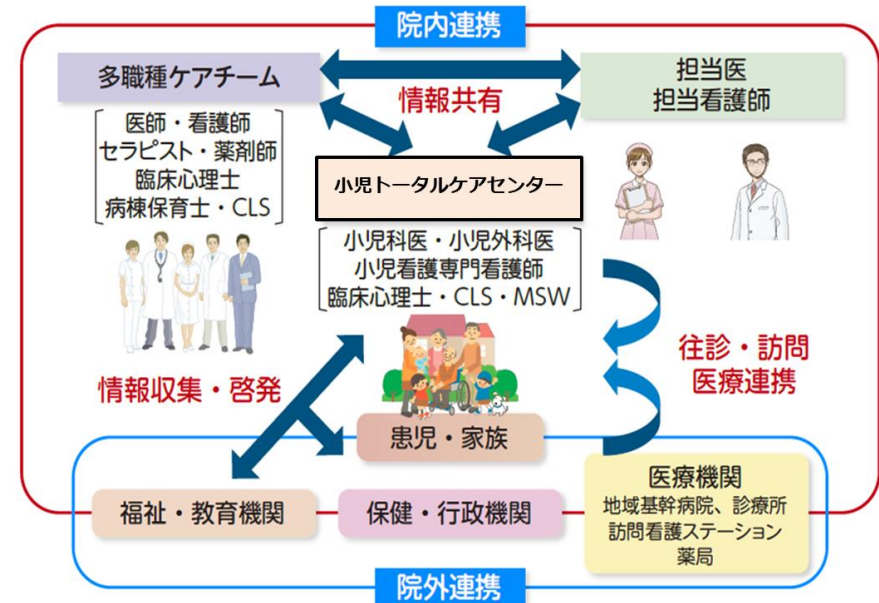
【一日のケア例】



資料：三重大学病院小児トータルケアセンター 改

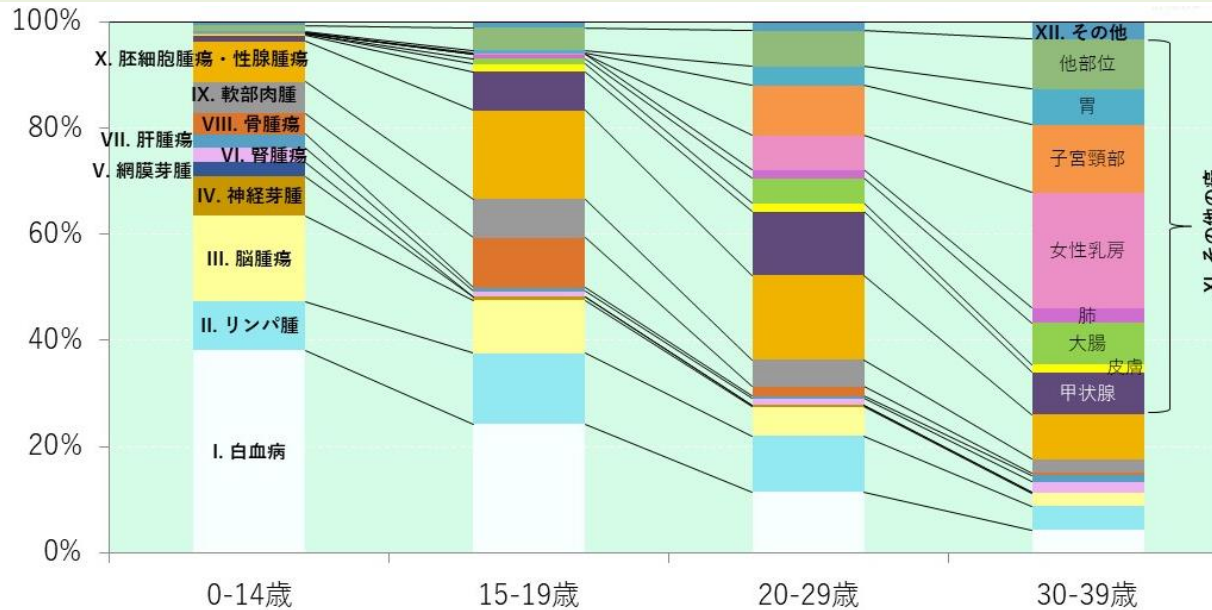


(小児在宅医療ナビ 改)



小児AYAがん（0-39歳）

がんの種類 小児とAYA世代のがんは類似性がある



(国立がん研究センターがん対策情報センター)

課題 患者の年代毎に家族を含めた生活・社会環境が異なる

就学・就労

高校生
単位取得
(教育体制)

晩期合併症

結婚

妊孕性

家族性がん

AYAがんに対する県内がん診療病院連携



- AYAがん患者の
 - ・ 実数把握
 - ・ 心理社会的課題抽出
 - ・ 相談支援体制の充実
 - ・ ニーズに沿った地域社会資源への橋渡し、開拓
- AYAがんと患者支援体制に関する社会啓発

小児・AYAがんトータルケアセンター

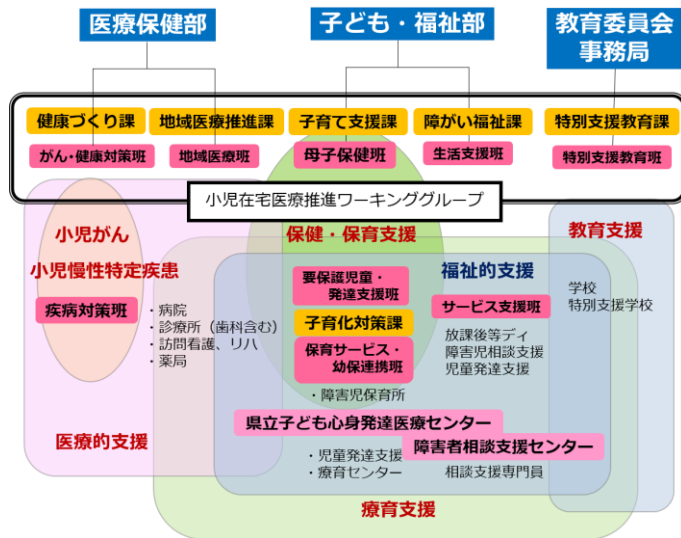
がんなどの治療を受ける子どもさん
医療的ケアを必要とする子どもさん

思春期～若年成人(AYA世代)の
がん患者さん



医療、心理、社会・学校・家庭生活、社会システムなどの面から患者さんやご家族を長期的にサポート

県庁内小児在宅 医療推進WG



連携

院内連携強化・拡充

